

エコツーリズム

エコツーリズムとは？

エコツーリズムとは・・・

自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史・文化の保全に責任を持つ観光のあり方のこと



【エコツアー】 エコツーリズムの考えを实践するためのツアー

- ガイドツアー・インタープリテーション～楽しむ、感じる、考える～（トレッキングツアーやキャンプツアー）
- 野生生物とのふれあい（野鳥観察会、ホテル観察会・・・）
- 自然の営みに触れる観察会（星空観察会、自然観察会・・・）
- 学校的环境教育（修学旅行の体験プログラム）
- 環境保全のために実際に貢献をする活動（植生回復ボランティア、施設整備ボランティア・・・）
- 自然の中でゆったりと時を過ごし、自然の恵みを体験する体験滞在型観光

エコツーリズムの特徴

自然や環境・文化を発見する旅
生命を感じる旅、人間性回復の旅
自然のために何かを实践する旅



自然環境などの資源を損うことなく、自然を対象とする観光をおこして、地域の振興が図れる効果

環境と地域経済の好循環

エコツーリズムの効果

環境保全地域の自然環境文化資源の価値が維持・
保全され、また向上する。 環境保全
新たなニーズに的確に対応し、新たな観光需要を
発掘することができる。 観光振興

雇用の確保、経済波及効果、
住民が地域に誇りを持つこと等
により、地域振興につながる。
地域振興



霧ヶ峰の課題とエコツーリズム ～問題解決と「価値創造」のヒント～

課題（例）

- 草原の森林化
- 踏み込みによる裸地化
- 外来種等の拡大
- 湿原の乾燥化
- 過剰利用・ピークの集中
- 環境保全の啓発

問題解決
価値創造
の一助に

エコツーリズム
の活用

エコツアーのプログラム

- 植生回復の活動
- 雑木処理等の活動
- 外来種駆除の活動
- 木道整備の活動
- 四季折々の霧ヶ峰で
「自然」を伝えるイン
タープリテーション

エコツーリズム推進の課題

霧ヶ峰のエコツーリズムのコンセプトの明確化

インタープリターの育成

推進体制

プログラム提供主体の育成

・ 観光事業者、観光協会

・ 運輸（バス）事業者

・ 旅館、ホテル

・ NPO 等

関連する法令の整備

旅行業法施行規則の改正

平成19年5月施行

第3種旅行業の登録をすれば、“地域限定”の募集型

企画旅行の実施が可能に

(県内の観光協会にも第3種旅行業の登録の動き)

エコツーリズム推進法の制定

平成20年4月施行

- ・ 国がエコツーリズムに関する基本方針を策定
- ・ 市町村がエコツーリズム推進協議会を組織
(国・地方公共団体の財政措置の検討も)